

てん末書

記録者職氏名

企画財政課
補佐

調整係
星 義 孝

1 日 時

平成28年11月15日(火) 13時30分 ~ 15時50分

2 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

3 会議及び用務

第7回 行政改革推進委員会

4 出席者

各委員：北村会長、高桑職務代理者、野田、高橋、小林、松浦、森、菊地、宮澤各委員
佐藤委員（森委員、松浦委員については所用のため途中退席）

町：松田住民税務課長、阿部企画財政課長、星課長補佐、竹中主任、尾関主事

5 結果要旨

1. 開 会（阿部企画財政課長）

2. 会議成立確認（阿部企画財政課長）

委員10名出席、全委員出席会議成立

3. 会長あいさつ

（北村会長）皆様こんにちは。前回会議より時間が空いたが、行政改革について、積極的な意見いただきながら進行していきたいと思えます。

先日の新聞で、遠軽厚生病院で出産できる体制が整い2人ほど生まれたと聞いています。地域も少しずつではあるが、皆さんの熱意で状況が変わっていると感ずます。行政改革の皆様の意見の中で、湧別町が前に進めるような形にしていきたいと思えますので忌憚のないご意見を頂きたいと思えます。

次回会議開催についての協議

12月16日（金）13時30分開催

4. 確認事項

（1）会議録の確認について

修正等はなし

5. 協議事項

(1) 平成28年度行政評価について(平成28年度分)

事務局より、平成28年度行政評価の実施について説明。

行政改革推進委員の行う外部評価の対象事業は、第1期総合計画に登載されている平成28年度実施予定の266事業から一定基準により選定した98事業となり、庁舎内において1次、2次評価まで終了しており、評価集計表のとおりの内容となっています。担当課による1次評価の結果については事前に個別調書を配布しているとおりで、委員より希望のあった10事業の内容について協議いただく前に質疑を受け、質疑がない場合は、2次評価のとおりの評価としたいので了承をお願い致します。

1次、2次評価に対する質疑

宮澤委員) 1次評価の後、2次評価で変更になった部分はどの事業でしょうか。

星企画財政課長補佐) 1次評価の後、2次評価で変更となった事業について説明。

宮澤委員) 85図書館管理運営事業について、図書館では学校図書との連携を図ることで進んでおり、図書館司書が学校との事業を進めることがあり不在がちになっているし、来年度から子どもの読書推進計画を策定すると聞いています。今も人員不足であり、人の手当が必要であり、現状維持の評価はいかがなものでしょうか。

阿部企画財政課長) 学校図書との連携は認識していますが、1次評価は担当課で評価した内容であり、図書館事業そのものでなく、人員体制の整備の視点であり、事業の評価とは別としています。人事の部分も含んでおり、あくまでも図書館運営の事業についての評価とし、2次評価では現状維持にしたものです。人員の問題は別な案件として協議していくこととしましたが、外部評価の意見として記載いたします。

宮澤委員) 子どもの学力向上、読書活動に資している部分が大きいので、外部評価に意見として記して頂きたいと思います。

宮澤委員) 91相互交流で隔年実施になるのは、縮小ではなく改善となるのでしょうか。

阿部企画財政課長) 捉え方によりますが、交流をやめるということではなく、手法を変えろという意味で改善としたものです。

佐藤委員) サイクルが半分になるが。人数は同じでしょうか。

阿部企画財政課長) 予算の範囲内となっています。

宮澤委員) 外部評価として、改善が妥当かどうか記載してほしいと思います。

星企画財政課長補佐) 1次評価で、実施にあたる課題改善を行いながらとの評価であり、改善としたものですが、改善ではなく、縮小ではないかとの評価意見を附することとします。

委員希望の10事業について、事務局より内容説明後、評価を実施。

1) 河川維持管理事業

宮澤委員) 照会事項は、どの事業者がやっているかを知りたかったのでしょうか。

北村会長) 地域に流れている河川は、自治会が管理しているところもあり、高齢化により困っています。町補助金の外に自治会で負担している現状もあり、実態はどうか照会したものです。

北村会長) 2 現状維持とします。

全委員) 承認

2) リラ街道応援団報償

北村会長) 国道と町道で違いがあります。お金が出ているものと、出ないものがあるのが現状です。やることは同じなので国道花壇もなにかないのかということです。

2次評価では今後検討するとの内容となっていますが。

宮澤委員) 町道は苗等を含めた報酬なのでしょうか。国道は苗を出してくれるが管理を全てということであり、町道花壇報酬の内訳を知りたいということなのでしょうか。

北村会長) そこまでではなく、町がやるとこうなるが、国だと手助けがない。当初は手助けするので地域の方でお願いしたいとの事でしたが、予算がなくなり現状となっています。国と町の違いがあるのは事実ですが。

菊地委員) 整合性とする必要があるのでしょうか。町、国それぞれの考えということではないのでしょうか。考え方を整理すれば良いことで、整合性に言葉を代えなくても良いのではないかと思います。

北村会長) どういう内容でやっているかの質問であり、国道との整合性とうとうということではありません。やり方の違いは当然あると思います。

阿部企画財政課長) リラ街道と国道の2つの花壇事業を行っており、もともと別なものでスタートしています。国道は地域でやっていただいております、年々高齢化により手伝いができなくなってきているとの地域の声も出てきているのも課題となっています。リラ街道は色々な団体に関わり整備を行っていますが、草取りが十分されていない状況も見られ、報償費で支出していることから植えてから除去の最後まで管理していただきたいとの考えもあります。

町としては、それぞれの形でスタートしていますが、整合性も今後検討していかねばならないのではないかと2次評価で話されたものです。別々の考え方もあるので、外部評価の中で意見を頂きたいと思います。

宮澤委員) 見苦しくなっていることに関し、お願いしますとのアプローチはしているのでしょうか。

阿部企画財政課長) しております。

宮澤委員) でも、改善されない。

高桑副会長) その辺がボランティアのあり方ということですね。

北村会長) 意見ないようなので、2番評価通りとします。

全委員) 承認

3) 廃屋等除去推進事業

佐藤委員) 昨年度できなかったものというのは、町の予算の関係か。申込あったが業者が対応できなかったからでしょうか。

4 (てん末書用紙)

阿部企画財政課長) 3カ年の時限法で取り組んだものであり、最終年度が3月31日で冬期間であり、住民はやりたいが、雪で業者が解体に入れないという人がかなりいたので、その分を27年度に予算措置して28年度に繰越したもので、予算の関係ではなく、少しでも制度を生かしてもらおうとの考えです。

北村会長) 解体後の土地利用はどうなっていますか。

阿部企画財政課長) 建替するための解体は対象外となっています。

宮澤委員) 建替えの予定なかったが、解体後に建てることになったのはあるのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 建物を建てるための解体は対象外としていますが、解体後は土地、建物の所有者が異なる場合もあるので規制するものではありません。

北村会長) ほか、意見ありませんか。評価どおり終結でよろしいですか。

全委員) 承認

宮澤委員) 外部評価に求められているのは、何もなければ2次評価のままで良いですよということなのではないのでしょうか。皆さんに意見を聞いているのは、外部評価に載るわけではないのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 外部評価で出た意見は、調書に記載します。

4) 移住体験実施事業

佐藤委員) 27年度からの事業なのではないのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 25年度からの事業で、25年度1棟、26年度2棟で25年度から受入しています。

佐藤委員) リピーターはどうなのではないのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 基本的にリピーターは、空きがあれば受け入れしています。

佐藤委員) 定住は難しいので、路線を変更したということなのではないのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 変更することも検討が必要ではないかとの評価です。

佐藤委員) 目的を消費、観光をメインにし、移住という目的は残るのでないのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 基本的には移住が目的ですが、そこまで望めないのであれば、せっかく来てもらったので、町のPRやお金を落としてもらおう取組ができるような方法を考えるということです。

佐藤委員) 定住を考えるとリピーターは大事だと思います。

宮澤委員) 体験事業ということであれば、広く門戸を広げ、色々な方ということであり、リピーターには他を紹介する形で、町の事業に関しては体験がメインで、どんなところか行ってみたいという意味で、リピーターは安く利用できるということで応募されたら、体験でやっている意味がなくなると思います。

北村会長) この他にも、町内に夏場に自分で家を借りている人もいます。

外にご意見はありませんか。

森委員) 想定していた回答であり、当然見直しが必要であろうと思います。たぶん成果は上がっていないのだろうなと考えていました。改善で良いのではないのでしょうか。別の方向で舵をきることも良いことだと思います。

菊地委員) 冬は東京、夏は芭露に住んでいる人がいます。そのように体験でなく路線変更もありだと思います。

宮澤委員) 名称をちょっと暮らし住宅体験事業とするなどはどうでしょうか。

森委員) 体験住宅を貸してそれっきりなのでしょうか。町内のイベントに誘う等、住む体験だけでなくイベント体験等はどうなのでしょうか。

星企画財政課長補佐) イベント等のチラシ渡したり、自治会を通じてかわら版等を配布してもらっています。

菊地委員) それだけでは足りない。地域の人と一緒に活動しないとだめで、イベント等を企画し準備することから広がると思います。

星企画財政課長補佐) 改善とは、そういう部分を含めていこうとのことなのです。

佐藤委員) メインがちょっと暮らしになるので事業名変わらなくて良いのでしょうか。

森委員) それを含めて検討ということで良いのでは。

北村会長) 改善ということで次に移らせていただきます。

全委員) 承認

5) 緊急連絡システム維持管理事業 6) 防災情報伝達施設整備事業

小林委員) スピーカーの関係ですが、気密性ある住宅で聞こえるかの検証はどうなのでしょうか。また、配信システムについて、若い人には問題ありません、高齢者等の携帯電話使用できない人への対策を拡充する必要があるのではないかと思います。

また、津波の関係で、注意報、警報等が出た場合、町内で港、曙、栄町だけ、錦町に避難することとなっていますが、警報が出た時、人間の心理として高所に逃げる傾向があり、はたして小学校、中学校の位置が適切なのかどうかを含めて、やってもらわないと不安が残ります。錦町地区の人が津波警報出た場合、避難行動を起こさないとは限りません。その場合、避難経路が混乱するのではないのでしょうか。

先日、道の防災訓練がありました。地域限定での訓練となっており、同じ町内で同じ行動をとらないと混乱すると思います。配信システムの関係も弱者対策が必要だと思います。

星企画財政課長補佐) 評価対象は事業ごとの評価ですが、防災全体への意見ということで調書に盛り込み、担当にも連絡いたします。

北村会長) 自治会の高齢者に対する取組として、川西と登栄床は、弱者救済ということで体制ができています。了解を得られず難しい部分もありますが、自治会で取り組んでいるところもあります。登栄床の建物は住民全部が上がるのでしょうか。

阿部企画財政課長) 基本的には、津波の際、地域に残された女性や子ども等の交通の問題等を考え、一時的に避難する施設とし、全員の避難を想定した施設ではありません。

宮澤委員) 防災情報伝達施設ということで、湧別地区27年度手厚く整備したということですが、それを活用し、湧別地区は子どもが生まれたらハッピーバースデーを流してもらっています。放送設備が整っていない上湧別地区については、チャイム等。富美、開盛は小学校からのスピーカによる対応をしてもらっています。

放送設備が整っていない上湧別地区に関して、防災情報の他に不審者情報や人探し等の放送が地域に流れることは、津波の防災だけでなく安心して町に住む上で大事なことだと思うので、住民が安全安心の意味で情報として設備を使えるようにということを加えていただきたいと思います。

6 (てん末書用紙)

阿部企画財政課長) 多目的活用という意見とします。

北村会長) 避難場所の提言あったが、誰が見ても合わないとの雰囲気ですが、ここしか無いということでしょうか。

阿部企画財政課長) 訓練に参加した住民として感じましたが、現実的に考えるなら、上湧別、中湧別への避難となる。訓練は意識を高める上で大事であり、災害時の関係機関の連携を主とした訓練と感じています。経路の問題も出てくると思います。

高桑副会長) 湧別川の氾濫に関係し、大雨の際、上流のダム管理者からの放水情報が入ってこないと聞いています。情報が来ないのであれば、情報を取るにより氾濫予測がつくのではと思います。評価は現状維持で良いと思います。

北村会長) 瀬戸瀬ダムの関係については確認が必要ですね。

1次評価、2次評価に関してはよろしいですか。

全委員) 承認

7) ファミリー愛ランドユース整備事業

佐藤委員) 営業期間短いが、利用状況は年々落ちているのでしょうか。

阿部企画財政課長) 指定管理により運営しており、ゴールデンウィークの状況に大きく左右されているのが現状となっています。2万5千人前後で推移しています。

宮澤委員) 小さな子を持っている家族にとって、近くで遊べる場所があるということは大事で、極端に利用が変化していないということは、地元の方に支持されているのではないのでしょうか。遊園地スタートの経緯は分かりませんが、それなりに運営されているのなら、小さな町に小さな遊園地があつて良いのかなと思います。遠軽にあつたものもなくなったことですし。

北村会長) よろしいでしょうか。評価2となっています。

全委員) 承認

8) 湧別高等学校存続対策事業

宮澤委員) 1次評価で湧別高校と連携を図りながら…とありますが、学校側からこういうことをやってほしいという話し合い等は持たれているのでしょうか。

松田住民税務課長) 発足から、かなり打合せは行っています。

宮澤委員) 学校側からの要望がこういう内容なのでしょうか。

松田住民税務課長) 道立高校であり学校側も抵抗がありました。年数が経ち、ここまで広がってきています。

宮澤委員) 経済的な面での保護者のサポートと言う形ではあるが、実際に湧高に行きたいという子どもたちの選択度を上げる事にはあまり使われていないような気がします。

入学してからの部活遠征費用等を援助してもらったりするけれど、中学生小学生を持っている親に、湧高の特色などの広報活動事業等へ町はお金出すこと出来ないのでしょうか。

松田住民税務課長) 道立高校であり学校への補助は出来ない為、PTA等の団体に補助金を出す形となっています。

宮澤委員) なかなか効果が上がらないので生徒が少ないということですね。

北村委員) 魅力ある高校づくりの話になると、なかなか学校と一致しないのですよね。

宮澤委員) 何年かしか居ない先生方にすれば、現状のこと変えて抵抗にあったり、仕事が増えたりとかに関して、なかなかやりにくいのかと感じます。

松田住民税務課長) 転勤あるが、それらは先生方に代々引き継がれ、朝の学習等のきめ細かな対応は続いています。

菊地委員) 部活等の指導者にお金を出しながらやるのも魅力ある自ら行きたい学校になるのではないのでしょうか。1クラスの湧別高校で何ができるか考えると特化して行く方法。知恵を働かせることが湧別高校のこれからの生きる道かと思います。補助だけでは知恵が無いと思います。

松田住民税務課長) 部活の外部指導者について、学校の運営で難しい面あり、部活クリニック等での指導につながっています。

星企画財政課長補佐) 前回(27年度事業)の評価結果説明

宮澤委員) 評価としては、支援を続けていくということですが。

北村会長) 住民が求めているところは、菊地委員の意見の部分ですが、学校として受入れられないということですね。

宮澤委員) 遠軽高校の間口がもし1つ少なかったら、心配な子は受験しないが、今は受かる状況です。

現状維持かも知れませんが、この問題には、いつも皆で心に向けていかなければならないことだと思います。

北村会長) 外部評価について、厳しくいくか、良いですよとするか。

宮澤委員) さらに検討を重ねて、改善できる策がないか検討していくしか無いですね。

北村委員) 外部評価の判定区分はどうでしょう。

宮澤委員) 現状維持だが、さらなる検討を、でどうでしょう。

北村会長) 現状維持だが、さらなる検討が必要を加えることでよろしいですか。

全委員) 承認

9) 湧別川河川緑地公園パークゴルフ場管理事業

小林委員) 廃止で検討しているということでもよろしいのでしょうか、一部では違う場所に移設とも聞いていますが。

宮澤委員) 社会教育委員会で、野球場にあるコースを整備する方向との説明を聞いています。

阿部企画財政課長) 今回は河川敷の評価となります。

北村会長) 廃止で問題なしということでもよろしいでしょうか。

全委員) 承認

10) 国際交流事業

宮澤委員) 推進委員会のどんなところが課題となっているのでしょうか。

星企画財政課長補佐) 以前は委員により派遣者の選考を行ったりしていましたが、現在は教育委員会となっており、推進委員の担当はまちづくりで分担しており、事業への関わり方についての検討が必要でないかとしています。

8 (てん末書用紙)

宮澤委員) 学生のうちに海外体験でき、小さな町だからできる事業だと思います。昨年、大人の人ホームステイを受け入れた。民間の草の根の部分をきちんとしないと長続きしないと感じます。出してやりたいが、受け入れを考えると手を揚げられないと聞いたりまするので、サポーター体制による受入対応等を進めていくと手を上げやすいのではないのでしょうか。良い事業だと思います。

小林委員) 湧高への進学対策として、中学生をやめ、高校だけにすることできないのでしょうか。

菊地委員) 大人は良いと思っているが、子ども達はそう思っていないということもあるのではないのでしょうか、環境の変化に応じた工夫も必要かと思います。

宮澤委員) 本物を見たらすごい、英語を話せたら色々なことができる、英語を話せると楽しいという意味で。

菊地委員) 日本からの留学生も減っていると聞いています。

阿部企画財政課長) 交流に参加したことにより、その後ワーキングホリデー等で海外へ行っている方がいるとも聞いています。

北村会長) 改善でよろしいでしょうか。

全委員) 承認

北村会長) 事務局からお願いします。

星企画財政課長補佐)

10事業の外部評価協議について、後日、調書にまとめ送付いたしますので、その確認をもって確定としたいと考えています。併せて全体の98事業に対する評価については、前段に質疑受けたているが1次2次評価どおりとして進めたいと思いますので、質疑等あれば連絡をいただければ対応したいと思います。

6. その他

次回会議の確認 12月16日午後1時30分から開催。

内容については行政改革大綱の全体的な話し合いと付帯意見について協議予定。

7. 閉会

北村会長) 皆さまのご協力に感謝し今日の会議を終了いたします。

終了 15時50分終了